

政権が変わったR56改良工事は！

不退転で臨む着工は早咲工区から／町長



おおにし しょういち 議員  
大西 章一

② 現在用地費として3億円  
ついていて。今後用地事務委  
託で推進するという事だが、  
多くの協定項目があり協議が  
必要と思う。また用地事務委  
託に於いて予算が付かない場  
合、用地国債を使って推進す  
る考えはあるか対応を問う。

③ 国交省中村河川事務所で  
は事業認可も取り、改良工事  
は行うと言っている。着工に  
ついては庁舎の移転先とまちづ  
くり構想が大きな問題となっ  
ている。この事が着工の遅れ  
の一因であり早急に決定すべ  
きと思う。住民や議会に対し  
町長の説得力と決断力が問わ  
れると思うが、その考えはあ  
るか姿勢を問う。

答

下村町長

① 政権が変わり見通しを立  
て難い状況にあるが、費用対  
効果の面だけでなく生命の危  
険にさらされる現国道の状況

に重きを置き推進して行く。  
着工と完成については現時点  
で明確な解答は出来ないが、  
この秋より早咲工区から用地  
買収にかかりたい。  
② 用地買収については2通  
りあり、町としては契約の内  
容等を慎重に検討した結果  
用地事務委託に決定した。従っ  
て用地の契約は町が行い、買  
収は国交省が行う。締結につ  
いては早い時期に行う。  
③ 庁舎の移転等については  
各委員会に於いて鋭意検討中  
で、今年度末までに答申を頂  
きたいと思っている。この事  
業は政治生命を掛けた事業と  
認識し現在も不退転の決意で  
臨んでいる。

河川工事

浮鞭海岸に  
導流提を！  
県に要望する  
／大方まちづくり課長

問

浮鞭海岸の河口は現在東に  
向け大きく蛇行し、県の設置  
した緩傾斜の階段の根石を洗  
い出している。県も危険度は  
認識しており、過日最も危険  
な場所を応急処置して頂いた。  
しかしこの様な対応は過去何  
度も行っており、浮鞭海岸は  
県の設置した緩傾斜の階段が  
4力所もあり、津波に対して  
も大きな不安と危機感を抱い  
ている。従って河口に津波対  
策も兼ねしつかりした導流提  
を築いて欲しいと、住民の声  
が日増しに大きくなっている。  
町として県に強く要望すべき  
と思うがその所見と対応を問  
う。

答

松田大方まちづくり課長

津波対策と川の流れを安定  
させる導流提は若干相違があ  
ると判断している。津波対策  
に付いては現時点でハードル  
が高過ぎると判断している。  
河口の蛇行については、現場  
が砂浜であり自然現象による  
蛇行は仕方ないにしても、今  
までの様に何度も操返す工法  
は無駄と認識している。導流  
提については県も検討してい



浸食が進む浮鞭の海岸

るが施工にあたっては、相当  
なシミュレーションが必要で  
あり、全ての面で問題がない  
と言う事にならないと、施工  
は難しいと判断している。し  
かし今後は地元住民の要望と  
して、実現する様、県に要望  
して行く。